

(事業実施主体名：とかちアグリワーク)

(都道府県名：北海道)

本年度は企業向け『社員研修制度』ということで、農作業体験とＪＡ施設視察研修を組合わせた取り組みを実施、他産業(企業)と連携して主要作物である馬鈴薯・長芋収穫繁忙期(9月・11月)に不足する農業労働力を確保する。

事業実施主体構成員

とかちアグリワーク
(十勝管内22ＪＡの馬鈴薯・長芋作付農家)

協力機関・連携先等

北海道開発局 帯広開発建設部 地域連携課

設定した成果目標・目標に対する進捗状況

- ①馬鈴薯収穫作業の求人充足率：実績値83%（目標値85%）
②長芋収穫作業の求人充足率：実績値93%（目標値90%）

今年度の取り組み内容

ア 労働力の需給状況の把握（地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等）

「1日農業バイトdaywork」のシステム内の統計データを活用して需給状況の把握を行っている。
R6実績(12月時点)：農家利用戸数：454戸、求職者数：9,126人、仕事登録数：12,698、求人数：36,849件、
応募数：60,096件、成立数：34,692件、全体のマッチング率：94%

イ 産地内での労働力確保・育成

- ・とかちアグリワークとしては、2019年から求人サイト「1日農業バイトdaywork」を本格的に活用。
過去6ヶ年成立人数

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
4,222	11,679	18,427	24,205	30,374	34,692

- 現在、十勝管内23ＪＡ中22ＪＡがとかちアグリワークに参加し、「1日農業バイトdaywork」を利用している。
・殆どのＪＡは無料職業紹介所を開所して同アプリを利用しているが、各ＪＡ農家で不足する労働力は人材派遣会社や特定技能制度・インターンシップ制度等を活用し確保している。

(事業実施主体名：とかちアグリワーク)

(都道府県名：北海道)

今年度の取組み内容	
ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保	
＜他産地と連携した労働力確保＞ ・馬鈴薯収穫時期(9月)と長芋収穫時期(11月)に他産業(企業5社)と連携し、労働力10名の受入れを実施。 馬鈴薯 …9月1日～14日 申込0名 ・実績0名 長 芋 …11月1日～14日 申込10名 ・実績10名 受入JA …長芋2JA(帯広川西・更別) 連携企業 …(株)ウフル1名、KDDI(株)1名、リコーリース(株)5名、(株)マイナビ3名 ※長芋収穫が早期終了の為、(株)マイナビ3名(申込13日)は薬草選別を体験して頂いた。	
ア 募集する労働者の居住地(出発地): 条件なし	
イ 労働場所(目的地): 十勝管内のとかちアグリワーク参加JA組合員の圃場	
ウ 宿泊場所: 帯広市内ホテル	
エ 募集条件: 交通費・宿泊費・食費は自己負担(又は企業負担)	
エ 労働力等のマッチング及びデータベース化	
・とかちアグリワークが推進している「1日農業バイトdaywork」求人サイトでのマッチング R6実績(12月時点): 農家利用戸数: 454戸、求職者数: 9126人、求人数: 36,849件、応募数: 60,096件、成立数: 34,692件 マッチング率94% ・求職者の属性についてデータベース化し、求人情報の発信に活用している。	
オ 農業の「働き方改革」への取組	
・農業者向けに「農業における働き方改革セミナー」を令和7年2月4日に実施予定であったが、前夜からの記録的な大雪によりやむなく中止としてが、講演予定者のご厚意により公演予定の動画を作成して後日動画配信する事とした。 ・農作業事故防止普及啓蒙動画を作成すると共に北海道農作業安全運動推進本部に動画提供、とかちアグリワーク参加JA組合員に動画の周知、又とかちアグリワークYouTubeチャンネルに動画をアップする。	

(事業実施主体名：とかちアグリワーク)

(都道府県名：北海道)

本事業取組みにおける成果項目

- ・企業職員の中に農業に興味がある職員が多くいることが分かった。
- ・企業(会社)全体の取り組みではなく、企業の中でも地域創生又は農業関連部門のある企業へのアプローチをすることで、部門単位の事業の中での『社員研修制度』参加が期待出来ることがわかった。
- ・参加者と懇談時に、『他企業社職員との交流が出来て大変良かった。今後の仕事面でプラスに働く部分があるので是非参加者懇談会を研修制度に組み込んで欲しい』との意見を頂いた。今後役員会等で検討する。

次年度以降の取組み内容

- ・地域創生又は農業関連部門のある企業のリストアップと企業側の意向調査の実施
- ・企業側の職員研修（新人研修等）の位置付けとして他産業連携への提案
- ・他産業連携事業の周知活動としてイベント等への積極的な参加

他産業(企業)と連携して主要作物である馬鈴薯・長芋収穫繁忙期(9月・11月)に不足する農業労働力を確保する。

事業実施主体構成員

とかちアグリワーク
(十勝管内22ＪＡの馬鈴薯・長芋作付農家)

実績値（目標値）

- ①馬鈴薯収穫作業の求人充足率：実績値82%（目標値85%）
②長芋収穫作業の求人充足率：実績値89%（目標値85%）

令和5年度取組み内容

今年度の取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握（地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等）

「1日農業バイトdaywork」のシステム内の統計データを活用して需給状況の把握を行っている。

R5実績(12月時点)：

農家利用戸数：444戸、求職者数：7,488人、求人数：32,778件、応募数：52,570件、成立数：30,374件
全体のマッチング率：92%

イ 産地内での労働力確保・育成

- ・とかちアグリワークとしては、2019年から求人サイト「1日農業バイトdaywork」を本格的に活用。
過去5ヶ年成立人数

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
4,224人	11,676人	18,424人	24,243人	30,374人

現在、十勝管内23ＪＡ中22ＪＡがとかちアグリワークに参加し、「1日農業バイトdaywork」を利用している。

- ・殆どのＪＡは無料職業紹介所を開所して同アプリを利用しているが、各ＪＡ農家で不足する労働力は人材派遣会社や外国人技能実習制度・特定技能制度・インターンシップ制度等を活用し確保している。

今年度の取組み内容

ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

＜他産地と連携した労働力確保＞

- ・馬鈴薯収穫時期(9月)と長芋収穫時期(11月)に他産業(企業7社)と連携し、労働力17名の受入れを実施。
馬鈴薯 …第1回9月1日～9日(実労9月2日～9月8日)4名、第2回9月8日～16日(実労9月9日～15日)1名
長 芋 …第1回10月27日～11月4日(実労10月28日～11月3日)4名、第2回11月3日～11日(実労11月4日～10日)8名
受入JA …馬鈴薯3JA(豊頃・帯広川西・幕別)、長芋2JA(帯広川西・幕別)
連携企業 …JR東日本5名、(株)長大6名、(株)ウフル1名、(株)バイテックエネスタ1名、リコーリース(株)1名、
富士通(株)1名、(株)レスター3名(内1名2週参加)
- ア 募集する労働者の居住地(出発地): 首都圏 (羽田空港発着限定)
- イ 労働場所(目的地): 十勝管内のとかちアグリワーク参加JA組合員の圃場
- ウ 宿泊場所: 帯広市内ホテル
- エ 募集条件: 交通費・宿泊費は無料(食費は自己負担)、実労働期間7日間が必須条件

エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

- ・とかちアグリワークが推進している「1日農業バイトdaywork」求人サイトでのマッチング
R5実績(12月時点):
農家利用戸数: 444戸、求職者数: 7,488人、求人数: 32,778件、応募数: 52,570件、成立数: 30,374件
マッチング率92%
- ・求職者の属性についてデータベース化し、求人情報の発信に活用している。

オ 農業の「働き方改革」への取組

- ・農業者向けに「農業における働き方改革セミナー」を「農業における働き方改革を考える」で北大東山教授に、「昨年度農作業事故状況と事故防止ポイント」で北海道農作業安全運動推進本部清野事務局長にご講演頂き令和6年2月6日に実施
- ・農作業事故防止普及啓蒙動画を作成し、同セミナーで視聴すると共に北海道農作業安全運動推進本部に動画提供、とかちアグリワーク参加JA組合員に動画の周知、又とかちアグリワークYouTubeチャンネルに動画をアップする。

本事業取組みにおける成果項目

- ・企業職員の中で農業に興味がある職員が多くいることが分かった。
- ・より多くの企業連携が出来ればより多くの企業職員を誘致することが出来ると思われた。
- ・農作業を実際に体験するだけでなく、農作業終了後に J A 施設視察見学を実施した。参加者から非常に好評であったことから企業職員の研修としての構想が生まれた。

次年度以降の取組み内容

- ・他産業連携事業としての企業側の意向調査の実施
- ・企業側の職員研修（新人研修等）の位置付けとして他産業連携への提案
- ・他産業連携事業の周知活動としてイベント等への積極的な参加
- ・働く側の働き方改革セミナーの実施
- ・農作業事故防止普及啓蒙動画作成